藍沢響は笑わないの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	藍沢響は笑わないの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	藍沢響は笑わないを読んだことのある10代～50代の男女46名
調査期間	2025年6月21日～2025年6月22日 2025年7月5日 2025年8月5日 2025年9月5日 2025年10月5日 2025年11月5日 2025年12月5日 2026年1月11日 2026年2月5日 2026年3月5日 2026年4月5日 2026年5月5日 2026年6月5日 2026年7月5日 2026年8月5日 2026年9月5日 2026年10月6日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/aizawakyouhawarawanai/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：藍沢響は笑わないを実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

10代男性	1人
10代女性	0人
20代男性	3人

20代女性	0人
30代男性	31人
30代女性	0人
40代男性	8人
40代女性	2人
50代男性	2人
50代女性	0人

Q2：藍沢響は笑わないの感想を教えて下さい。

『藍沢響は笑わない』1話	椎名さん大変過ぎるっていう印象が強いですね。せっかく看護師になって病院勤め出来てるのに、霊感体質だと気に休まる暇もなさそうです。エレベーターで藍沢先生と乗り合わせた時のシーンはかなりの恐怖でした。あんな風に走ってこられたら、自分だったら悲鳴を上げてしまいそうです。病院は人の死にかかわることが多い施設ですし、大変過ぎるなって感じました。
『藍沢響は笑わない』1話	幽霊が見える体質のひなのなのですが自分と同じ性質の響の存在を知って、なんだか嬉しくなってしまう姿が可愛いですね。なんとなく自分の気持ちを理解してくれる人が近くにいると安心するものですよね。そういう気持ちの機微を作画から読み取ることが出来ました。でも響の態度がちょっと冷たい感じだったのでその部分は引っかかりましたが展開としては非常に面白かったです。
『藍沢響は笑わない』2話	今回は山中さんに色々考えさせられました。前話で登場した時は人の好さそうなおじさんって感じでしたけど、待ち合わせ場所に現れた時は違和感を覚えたんですよね。もしかして椎名に好意を抱いていて、ストーカー的なことをしているのではと。さらに椎名が藍沢先生の車から降りる時に落としたペンがその印象を強くしました。もしかしてこのペンは山中さんが椎名を監視する為に仕掛けたものではと。幸い最後で山中さんが椎名にかかわることはない展開となりましたけど、それは普通の作品ならではの話。本作は幽霊が出てくる作品ですし、もしかすると霊となって椎名にとりつくのではなんて先の展開を妄想してしまいました。まあ今回は山中さんに振り回されたなって感じました。
『藍沢響は笑わない』2話	ひなのが先生から呼び出しされて舞い上がっていると思いきや、まさかの幽霊が見えるという話でした。しかも、先生がかなり冷たくて、突き放されたと思ったら、「ひょっ」って笑っちゃいました。冷たくて怖い印象でしたけど、けっこう可愛い一面も多いみたいですね。そして、霊の見えるひなのに近づく嫌な雰囲気も気になるところです。
『藍沢響は笑わない』2話	メインキャラである藍沢の存在がとても魅力的ですね。常に彼のことが気になってしまう感じで、作中でどういう振る舞いをするのか楽しみで仕方がありません。ひなのと藍沢は二人とも霊感が強い体質なのですが、性格はまるで違うところが面白いですね。作中、非常にクールな藍沢なのですが、女性が少し苦手だということがわかるのでその点もなんだか可愛く見えてきます。
『藍沢響は笑わない』3話	藍沢のことを少し怖がっていたひなのですが、優しい一面を見て藍沢への印象が少し変わったのが伝わってきました。この二人の関係性がこれからどうなっていくのか楽しみです。さらに今回は山中の霊が登場し、何やら意味深な行動をとります。この行動の意味を考察しながら読み進めるのも面白かったです。ホラーが好きな人も満足できる回だったのではないでしょうか。
『藍沢響は笑わない』3話	やっぱりオカルティックな作品ということで非常に自分の好きなテイストになってきましたね。山中さんという方が死んでしまったことでひなのが落ち込んでしまう姿が印象的です。しかし、そのこともストーリーに大きく関わってくるので目が離せません。作中、山中さんの霊が出てくる流れはゾクっとしましたね。ひなのが幽霊となった山中さんをシカトしてやり過ごそうとする場面は必見ですね。

『藍沢響は笑わない』4話	山中の霊に怯え続けるひなのが描かれているからこそ、藍沢のベテランな感じがより際立っているのが良かったです。こんな上司がいたら頼りたくなるだろうなぁと思いました。ひなのも怖がりなわりには好奇心旺盛で、結構危ない方向へ行動を進めていくのが面白かったです。まだ山中の霊は消えてないので、これからどんなことをしでかすのかワクワクしながら楽しめました。
『藍沢響は笑わない』4話	今回、藍沢の格好いい姿が特に見えた気がしますね。山中さんに付き纏われているひなののことを優しく慮ってあげていたので彼に対してすごく好感が湧きました。しかも藍沢は霊が見えるだけではなく除霊までできるという新たな情報までわかったのですごく興味深かったですね。まだ藍沢には何か秘密がありそうでより興味が湧きました。
『藍沢響は笑わない』5話	山中の箱からどんどん真相が明らかになっていくエピソードであり、今までで一番ドキドキしました。なぜ山中の霊がひなのに執着するのかもわかり、ちょっと切ない気持ちになりました。その一方で、藍沢はどんな状況でも落ち着いて対処するプロフェッショナルさを見せつけてくれます。ヤバイ状況こそ、藍沢のカッコよさが一際輝くことを実感しました。
『藍沢響は笑わない』5話	まさか山中さんが、集めたひなのの髪の毛を自分のへその緒に巻きつけて、生まれ変わった後で彼女と結ばれようと画策していたなんて、あまりにも予想外だったのと気持ち悪さで身の毛がよだちました。周囲に反対されて結婚できなかった20歳以上年下の相手というのも、実は恋人でもなんでもなく、一方的に山中さんが夢中になってただけなのではないかと思ってしまいました。
『藍沢響は笑わない』6話	藍沢のおかげでついに山中の徐霊が終わり、やっと一段落ついたという感じでした。さらに藍沢とひなのが連絡先を交換したり、今回の事件をきっかけに二人の距離が縮まったようでこちらも嬉しくなりました。ひなのは藍沢に対する好感度がどんどん上がっていると思います。さらに今回は藍沢の過去に何かあったと匂わせるようなシーンもあり、藍沢のことをもっと知りたくなりました。
『藍沢響は笑わない』6話	山中さんが思っていた以上に生前からヤバい人だったので、藍沢先生によって無事除霊されてホッとしました。ひなのは自制しようとしていましたが、彼女にとって藍沢先生は唯一の理解者な上危ないところを救ってくれたヒーローでもあり、優しい一面なども垣間見たことで、これから先どんどん惹かれていってしまうんだろうなと思いました。
『藍沢響は笑わない』7話	この作品はやっぱりオカルトな部分と医療というものの塩梅が丁度よく配合されていて面白いですね。森さんという重病患者についてのことが色々と描かれていたのですが、やっぱり人の命というものは千差万別だなと痛感しましたね。未告知によって本人や周りの人がどういう気持ちなのかということが作画から伝わってきましたし非常に考えさせられました。
『藍沢響は笑わない』7話	今回は特にホラー要素が強く、良い意味でそんな世界観に入り浸るような気持ちで夢中になりながら読めましたし、それでいて前話で連絡先の交換を藍沢ともしているので、恋愛模様もどうなっていくのかとても気になりました。また、藍沢の過去に何があったのかも少しずつ分かってきたので、尚更今後が目を離せなくなりました。
『藍沢響は笑わない』8話	3日間行方をくらましていた久保さんがいきなりひなのの前に現れた姿にはびっくりしましたね。てっきりもう出てこないのかなと気を抜いていた時に現れたので、ひなのと同じように驚きを隠せませんでした。藍沢はそんなひなのに対して霊を遠ざけるようにアイコンタクトを送りますが、そんなことお構いなしに久保さんはひなのに何かしでかしそうで非常にドキドキしますね。霊感があるとやっぱり色々と大変だということが伝わるので目が離せません。
『藍沢響は笑わない』8話	この作品はやっぱり作画がすっきりとしているので非常に読みやすいですね。幽霊が見えるというメインの二人が、その霊と絡むことで物語が独特の空気感を孕みながら展開していくので俄然目が離せません。ひなのが看護師の仕事をしながらも、霊に翻弄されているのがちょっとコミカルでおかしいですね。作中、藍沢がひなののことを気にかけながら好転させていく流れも必見です。
『藍沢響は笑わない』9話	藍沢先生との電話がいつ久保との会話に切り替わったのかが気になります。会話の途中で一度会話が途切れたところがあったのでそこでしょうか。読んでいて全然気づきませんでした。なかなかのホラーですね。
『藍沢響は笑わない』9話	怖い描写はたくさんありますが、どうしても久保が悪い人には思えません。自殺は駄目といっていたように、自分は意図せず亡くなってしまったから、自分で命を落とそうとする人のことを許せなかったのかも知れません。だから喉をつまらせた人も、自殺未遂の人も知らせてくれたのだと思

	います。ただ話をきいてほしいだけ。そんな気がします。
『藍沢響は笑わない』10話	やっぱり久保はいい人ですね。表情が怖かっただけで、急患を知らせてくれていたっぽいです。よくよく考えてみると、これまでの久保のセリフってそこまで怖いようなことを言っていなかったかも。最後の久保の表情が切ないです。ていうか、そんな表情できるなら最初からやっておけばいいのに。
『藍沢響は笑わない』11話	みんな優しいし、お互いを想い合う久保夫妻に思わず泣けてしまいました。子を持つ親としては、子どもが久保の存在に気づいたところが一番やばかったです。亡くってからも妻のことを考えて、嘘をつける久保は最高の夫です。
『藍沢響は笑わない』12話	この漫画って結構鳥肌が立つような場面が多いんですけど、12話が一番鳥肌が立ったかもしれません。まさか1話からの伏線が回収されるとは。これまでたまにでてくるある霊がいましたが、それが誰なのかわかりませんでした。ただ、たまに描写されるだけあり、絶対に重要な人物であるとは思っていたんですよね。それが今回の話で判明しました。これは次の話がかなり気になります。
『藍沢響は笑わない』13話	久しぶりの再会で少し泣けました。ただ、ちょっと拍子抜けだったかもしれません。家の前でずっと泣いていたのが家に入れないからだなんて、もう少し重い感情を持っていると思っていましたから。とはいえ、最後のごめんの意味が少し気になります。本当は死んでいることに気づいていてあんな嘘をついたのでしょうか。もしそうなら、本当は成仏してなくて、なにか裏があるんじゃないかと考えてしまいます。
『藍沢響は笑わない』10話	手を掴まれたときはびっくりしましたが、久保さんはいい人でした。奥さんも辛いですね。久保さんが退院したらやりたいことを残していたとか、これには胸をえぐられる。
『藍沢響は笑わない』11話	ひなのと藍沢先生の必死の願いで、久保さんと奥さんが心のなかで再会できて本当に良かった。お互いに優しい夫婦だからこそ、辛い気持ちになります。息子がパパを見つけたシーンは、ちょっとうるっときました。
『藍沢響は笑わない』12話	藍沢先生の過去が判明しましたね。しかもそれがひなののアパートにいる霊だったとは。これはかなり意外です。先生が彼女と会うためにガタラ気続けていたというのも辛いです。先生にも先生の元カノさんにも幸せな結末になってほしい。
『藍沢響は笑わない』13話	探し続けていた人がこんなに近くにいたとは。先生も想像もしなかったでしょう。しかもそれがわかってすぐ再会することになるとか、心の準備もできません。でも、二人が無事に再会できてよかったです。
『藍沢響は笑わない』14話	物語が始まったときから、先生もかなり表情豊かになりましたね。2話前くらいは、不安で緊張しているような表情をしていましたが、彼女と無事に再会できて、安心していることが表情からわかります。いつもの仏頂面になったり、普段見せない笑顔を見せてくれたり、コロコロと変わる藍沢先生の表情が良い話でした。
『藍沢響は笑わない』14話	ひなのももどかしいですね。先生がひなのに気を許していたのは、ひなのが先生に対して、下心がなかったから。しかし、実際はひなのは先生のことが好きで、それがバレてしまうと今の関係性が崩れるから言い出すこともできない。でも先生のいろんな表情を見れて、少しずつ距離は近づいているんですよね。最後のひなのがコップを捨てないところも面白かったです。
『藍沢響は笑わない』15話	次の章に入り、新キャラが登場です。今回はイケメンでマッチョな男性です。はじめ見たときは、かなり胡散臭そうなイメージでしたが、働いているところを見ると、本当にいい人そう。だけど、モテすぎるがゆえに、霊からも好かれているのかもしれません。変なおばさんもでてきましたし、次が気になります。
『藍沢響は笑わない』15話	藍沢先生の話の深堀りがあったので、話が終わるのかなと思いきや、無事に続いて安心です。そして、新しく内海というイケメンが配属されましたが、性格は普通に良さそう。とはいえ、無意識に引き寄せてしまうんでしょうね。最後にでてきた用務員の女性ですが、ストーカーっぽそうです。内海はモテるので、内海に近づく人間をすべてこの女性が殺してきた、という可能性もあります。そうなると次に危険なのはひなのですね。

『藍沢響は笑わない』16話	前回も不穏な雰囲気をしていましたが、患者のおばさんの雰囲気がやばいです。明らかにストーカーですし、それよりももっとやばいことをしてそうな気がします。呪いのようなものをかけているのでしょうか。内海への執着の理由と今後の展開が気になります。
『藍沢響は笑わない』16話	以前の病院でも同じように内海の周りの人の体調がおかしくなってしまったとか、異常な状態です。内海も相談したくても、何が原因かわからないし、どうしようもないのでしょうね。ここで、ひなのがなんとかしてくれるはずです。以前の病棟でも3ヶ月前からおかしくなったとのことですが、あきらかにあの患者の南谷が原因でしょう。この人が何をしているのか気になります。
『藍沢響は笑わない』17話	これまで散々、南谷がヤバい描写が多くありました。今回も明らかに、南谷が幼い頃の内海を連れ去ったかのような描き方がされていました。ただ、ここまで露骨にヤバさを描いていることと、南谷が急変したことを考えると、本当は内海を守っていたのかもと思いました。過去に連れ去られたときに、すぐに母親が迎えに来たという話も引っかかります。本当は南谷が内海の本当の母親なのではと、感じました。
『藍沢響は笑わない』17話	かなりいろんなことが詰め込まれた話でした。内海の過去も重いし、南谷は急変するし、1話に色々起きすぎです。これは次の18話で、今回の内海の話が解決するくらいの展開になるかもしれません。それと、霊を睨むだけで除霊できるとか、藍沢先生のスペック上がってません？
『藍沢響は笑わない』18話	17話で、藍沢先生が母親のお陰で、内海はこれまで霊に影響されることはなかったのではないかと言っていましたが、あれは間違いな気がします。むしろ、あそこまで霊に取り憑かれるようになったのは、母親のせいなのではないでしょうか。18話で出てきた悪霊は内海の母親な気がしますし、むしろ南谷が内海を助けていたのではないでしょうか。南谷の異常な行動は、あの悪霊の影響なのではないかと思います。
『藍沢響は笑わない』18話	明らかにヤバそうな霊です。しかし、患者のおばさんはまだ亡くなっていませんし、あのおばさんの霊ということはなさそうです。ということは、残っているのは、内海の母親か昔の誘拐犯くらいでしょうが、なんだか母親が怪しいなって気がしてきました。自分が3か月前に亡くなったことで、息子を道連れにしようと思っているのかもしれません。もしそうなら、内海の幼少期は辛い生活だったのかなって思います。
『藍沢響は笑わない』19話	全ての真相が判明してスッキリしたと思いきや、まさかの2段構えになっていました。藍沢先生がなぜ写真を見てゾワッとしたのか、その理由が気になります。結局、藍沢先生の推理は間違っていたということでしょうか。続きが気になります。
『藍沢響は笑わない』19話	相澤先生が推理していたけど、結局間違いということですね。過去の話は新聞に書いていた通り、事実ということでしょうか。個人的には、南谷がまだ怪しいと考えてます。見守っていたにしては、最初に登場した時の反応が異常でしたから。やっぱり、内海に対して、邪な考えとかあったのではないでしょうか。
『藍沢響は笑わない』20話	かなり腑に落ちた結末でした。南谷のこれまでの表情の意味も、言動もすべてこれにつながっていたのですね。一番恨んでいたのは犯人であり、内海はとばっちりを受けていただけです。そのため、最後に笑顔だった理由にも納得できました。これでちゃんと成仏できたらいいですけどね。
『藍沢響は笑わない』20話	今回の問題は解決しましたが、ひなのと藍沢先生の仲はさほど進展しませんでした。まぁ恋愛漫画ではないので、そこにはあまり期待しすぎないほうがいいのかもしれません。あと今回の一件で、二人に内海という味方も増えたでしょうし、今後も色々関わってきそうな気がします。
『藍沢響は笑わない』21話	新しく登場した堀内ですが、明らかに半年前と姿が変わりすぎです。以前はふっくらとした印象があるほどでしたが、今はやせ細ってしまっています。果たして、何があって堀内はここまで変わってしまったのかが気になります。
『藍沢響は笑わない』21話	今回の霊は生霊でしょうか。彼氏が千紘を束縛しているように感じますね。今の描写を見る限り、彼氏の生霊が千紘に憑いているように思えますが、この漫画ってかなりミスリードがあるので、今回も違うのかもしれません。彼氏は本当に千紘を愛しているだけとか、原因はもっと別にあるとかありそうです。
『藍沢響は笑わない』22話	千紘の夫は何が目的なのでしょうか。千紘は痩せないといけないと考えていますが、夫の方はもっと違うことを考えていそうな気がします。千紘をあえて追い込もうとしているのかもしれませ

	ん。
『藍沢響は笑わない』22話	ここまで直接的に霊に危害を加えられたのは意外と始めてではないでしょうか。手を掴まれたりはあったものの、これほど悪意を持っているのはいなかったはずです。ただ、このおかげで先生が動いてくれそうですし、ここから調査開始ですね。
『藍沢響は笑わない』23話	森本がもやの元凶だと思われるような描き方をしていますが、この漫画のことなので、これはミスリードなのだろうなと思います。森本は千紘の異常に気づいていて、もやは別の人間が関係しているのかも。それこそ、千紘本人が出しているなんてあるかもしれませんね。
『藍沢響は笑わない』23話	藍沢先生がかなり淡白な対応をしていますが、何を考えているのかが気になりますね。なんだか、あの先生の反応を見る限り、もやの正体に関して、ある程度目星がついているのじゃないでしょうか。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス